

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版
ロマンの森 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-京都-建築(新築)2018年
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル				2.6	0.15	-	-	2.6
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	-	2.4
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.20	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	-	
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境								
2.1 室温制御				1.7	0.35	-	-	1.7
1 室温				2.5	0.50	-	-	2.7
2 外皮性能				3.0	0.44	3.0	-	
3 ソーン別制御性				1.0	0.21	3.0	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.35	-	-	3.1
2.3 空調方式				1.0	0.20	3.0	-	
3.0 空調方式				1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境								
3.1 昼光利用				2.7	0.25	-	-	2.7
1 昼光率				2.6	0.40	-	-	3.1
1 1 昼光率				2.0	0.31	3.0	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
2 2 方位別開口				3.0	0.69	-	-	
3 昼光利用設備				2.0	0.15	-	-	
3.2 グレア対策				2.0	1.00	3.0	-	
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度				3.0	0.08	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.37	3.0	-	
4 空気質環境								
4.1 発生源対策				3.1	0.25	-	-	3.1
1 化学汚染物質				4.0	0.50	-	-	3.1
4.2 換気				4.0	1.00	3.0	-	
1 換気量				2.5	0.30	-	-	
2 自然換気性能				4.0	0.41	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.17	3.0	-	
4.3 運用管理				1.0	0.41	3.0	-	
1 CO ₂ の監視				2.0	0.20	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-	
				1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	3.0
1 広さ・収納性				2.3	0.40	-	-	3.0
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.17	3.0	-	
3 バリアフリー計画				1.0	0.17	3.0	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.66	-	-	3.0
1 広さ感・景観 (天井高)				3.6	0.30	-	-	
2 リフレッシュスペース				5.0	0.33	3.0	-	
3 内装計画				5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				1.0	0.33	-	-	2.9
1 維持管理に配慮した設計				3.5	0.30	-	-	
2 維持管理用機能の確保				4.0	0.50	-	-	
				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震・制震・制振				2.9	0.30	-	-	2.9
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.50	-	-	2.9
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.20	-	-	2.9
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				5.0	0.20	-	-	
				2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性					2.6	0.20			
1	空調・換気設備				1.0	0.20			
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3	電気設備				3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5	通信・情報設備				3.0	0.20			
3 対応性・更新性					3.4	0.30			3.4
3.1 空間のゆとり					4.6	0.30			
1	階高のゆとり			1階階高4.2m、2階階高3.5m	5.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由度	●大切	A(全国版準用)	壁長さ比率0.1~0.3の間	4.0	0.40	3.0		
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30	3.0		
3.3 設備の更新性					2.8	0.40			
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		2.0	0.20			
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30			3.0
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも 自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.1
LR1 エネルギー					-	0.40			2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI _m =0.84	4.2	0.20			4.2
2 自然エネルギー利用		●自然	A(全国版準用)		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		●自然	C(独自加点)	[BEI][BEI _m] = 0.97	2.1	0.50			2.1
4 効率的運用					3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00			
4.1	モニタリング				3.0	0.50			
4.2	運用管理体制				3.0	0.50			
集合住宅の評価					-	-			
4.1	モニタリング				3.0	-			
4.2	運用管理体制				3.0	-			
LR2 資源・マテリアル					-	0.30			3.6
1 水資源保護					3.4	0.20			3.4
1.1	節水			自動水栓及び節水型水栓・節水型便器を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減					3.7	0.60			3.7
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	アステキリッドクレイン、IB707AN3000-DPタイプ、地域産木材(外部ルーバー)	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)	内壁下地に軽量鉄骨、OAフロアの採用	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.20			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用			壁紙用接着剤には有害物質を含まない材料を使用	4.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避					3.5	0.70			
1	消火剤				-	-			
2	発泡剤(断熱材等)			ODP=0、GWP=3の断熱材を採用	4.0	0.50			
3	冷媒				3.0	0.50			
LR3 敷地外環境					-	0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮					3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮					3.1	0.33			3.1
2.1	大気汚染防止			ppm値が基準値の90%以下	4.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善	●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			
3	交通負荷抑制				3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮					2.8	0.33			2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40			
1	騒音				3.0	1.00			
2	振動				-	-			
3	悪臭				-	-			
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制					3.0	0.40			
1	風害の抑制				3.0	0.70			
2	砂塵の抑制				-	-			
3	日照阻害の抑制				3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					2.3	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				2.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)		3.0	0.30			

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目 重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる